



にじのはし幼稚園 園だより



令和 6 年 9 月 号
港区立にじのはし幼稚園
園長 飯田美弥

それぞれの場所で過ごした夏を終えて、元気な子どもたちの声が幼稚園中に響く日々が戻ってきます。夏季休業中はいかがお過ごしでしたでしょうか。今年の夏も暑く、全国に報道されるほどの大雨が降った日もありました。大雨の翌朝お台場海浜公園を通ると、今までに見たことのない風景がありました。海面に数えきれないほどのたくさんの鳥が集まっていたのです。調べてみるとどうやらカワウという鳥のようでした。大雨で魚も多く海に集まっていたのでしょうか。

私は、この夏、様々な研修で話を聞く機会がありました。興味深いお話がいくつもあったのですが、この場をお借りして一つ紹介したいと思います。

それは、国公立幼稚園こども園PTAの全国大会で、閉会の挨拶で話されていたことです。その方は、小さな町で育ち、小さい頃から柔道で一目置かれていたのですが、高校生になり、県大会に出られるようになると、これまでのようになかなか勝てなかったそうです。県大会では負けるとそのチームは帰るのが慣例だったそうなのですが、ある時、負けてしまったけれども帰らずに最後までいたそうです。すると、決勝戦まで残って試合をしたチームが、終わった後の片付けまでやっている姿に驚き、これでは自分たちが勝てるわけがないと感じたそうです。そこで、試合に負けても最後までいて、一緒に片付けまでするようにしたところ、どういうわけかチームが強くなったということです。その方は、監督に「あなたは1番にはなれないかもしれないけれど、負けない力がある」と言われたことがあり、それは公立幼稚園の教育にもつながることではないかと話されていて、なるほどなと思いました。何でもできるようになれ、1番になれと言われていたのは昭和の時代で、みんな平等にするのがいいという時代を経て、今は、それぞれの得意なことに磨きをかける時代だと言われています。そういう今必要なのは、人と順位を比べることではなく、自分自身の成長を信じられる力であり、そのためには「(自分に) 負けない力」を育てていくことが大切です。その根っこ部分を幼児期に育てることができたら、人生における大きな財産になると思いませんか。

本園は、幼児の姿から経験してほしい環境を整え、幼児の主体性を大切にした保育をしています。幼児が夢中になって遊び、一人ひとりの興味が広がり、よく見たり不思議だなと感じたりすること、試行錯誤や探求、自己調整や他者との協働など、直接体験を通して豊かに総合的に学ぶことを重視しています。その積み重ねの中で「負けない力」を育てていきます。2学期も本園への保護者や地域の皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

幼稚園経営計画 今年度の主な取り組みからの抜粋

- 幼児の主体性を重視し、豊かな感性と創造性を育み、思考力の芽生えを培います。
 - ・幼児が遊びに没頭する中で、幼児自らが気づき、考え、判断し、行動する中で、試行錯誤する経験を積み重ねていきます。
- 教材や行事を工夫し、心動く体験へとつなげ、豊かな学びを保障します。
 - ・教師は、幼児の興味や関心、時季を踏まえた教材や、幼児が主体的に場やもの、人に関わって遊び込む環境構成を工夫し、幼児の直接体験を豊かにし、資質・能力を育てていきます。